

株式会社三井 E&S  
株式会社ゼンリンデータコム

## 三井 E&S とゼンリンデータコムが、 ドローン自動飛行点検ルート生成アプリケーション「ドローンスナップ」を販売開始

株式会社三井 E&S(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高橋 岳之、以下:三井 E&S)と、株式会社ゼンリンデータコム(所在地:東京都港区芝浦、代表取締役社長:清水 辰彦、以下:ゼンリンデータコム)は、この度、港湾クレーン、プラント、インフラなどの設備における点検・巡視に対して、ドローンが飛行から撮影まで一貫して自動で行うよう飛行ファイルを生成する“ドローン自動飛行ルート生成アプリケーション”「ドローンスナップ」の販売を開始しました。

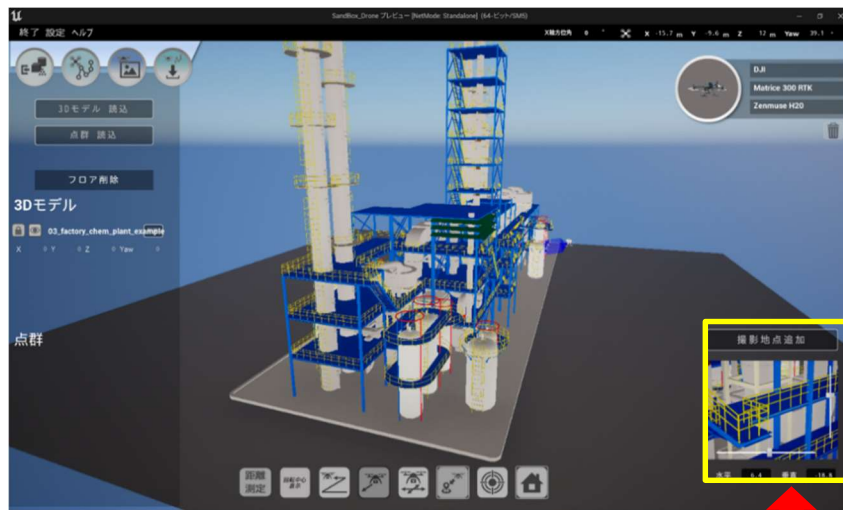
「ドローンスナップ」では点検対象物の3D モデルを PC アプリケーションに読み込み、デスクトップ上で点検の際に必要な解像度や画角で撮影設定すると、その設定情報を飛行ファイルとして出力することができます。この飛行ファイルをドローンに読み込むことで、設定した通りの写真撮影を自動で実施することができます。これにより「誰でも、手軽に、高品質で」ドローンを用いた設備点検や巡視が可能となります。



三井 E&S 「ドローンスナップ」サイト

<https://www.mes.co.jp/business/crane/dronesnap.html>

両社は、2023年6月にドローンスナップの原型となるプロトタイプアプリケーションをインフラメンテナンス展で発表し、その後、遊園地、橋梁、プラントと幅広い業界で実証を重ねました。また、連携可能なドローンの対応機種を拡大しました。(対応機種は上記のサイトでご確認ください)



ドローンスナップアプリ画面(右下のウィンドウに撮影予定画像が表示されます)

## ■事例紹介

### ・プラントでの活用事例

2023 年末に、株式会社レゾナック大分コンビナートにて、プラントの3D データ構築とドローンスナップを活用した設備点検の技術実証を実施。

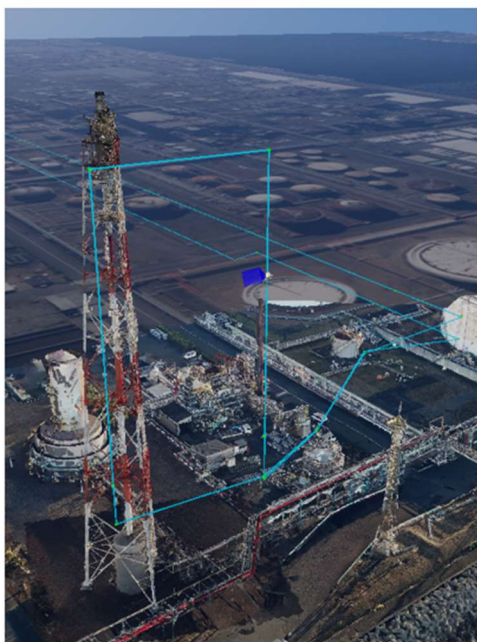
<https://www.zenrin->

[datacom.net/solution/casestudy/drone-resonac](https://www.zenrin-datacom.net/solution/casestudy/drone-resonac)



最初に写真測量にて設備全体の3D モデルを

作成した上で、作成した3D モデルをドローンスナップに読み込んで設定し、ドローンの自動飛行・自動撮影を行いました。実証でドローンは、防爆エリアを避けた飛行ルート通りに正確に飛行して予定画像通りの撮影を行うことができました。



予定画像（3Dモデル）



ドローンでの撮影結果



### ・橋梁、工事現場のクレーン、遊園地等での活用事例

[https://www.zenrin-datacom.net/solution/drone/casestudy#drone\\_case1](https://www.zenrin-datacom.net/solution/drone/casestudy#drone_case1)

## ■各社の役割

<三井 E&S>

- ・「ドローンスナップ」アプリケーションの開発と保守
- ・「ドローンスナップ」と連携して利用可能なクラウドサービス「ドローンスナップクラウド」の開発
- ・主に港湾クレーン分野と製鉄分野を中心とした営業展開とサポート

<ゼンリンデータコム>

- ・「ドローンスナップ」アプリケーションの企画及び技術支援
- ・主に港湾クレーン分野と製鉄分野以外の「ドローンスナップ」の導入に関する営業展開とサポート
- ・ドローンスナップの販売代理店の募集に関わる業務

今後も三井 E&S とゼンリンデータコムは、本アプリケーションを用いて、港湾クレーン、プラント、インフラ等の分野でのドローン点検の拡大に寄与して参ります。

【お問い合わせ先】

株式会社三井 E&S

物流システム事業部 テクノサービスセンター

Tel: 0863-23-2440

株式会社ゼンリンデータコム

オートモーティブ事業本部 オートモーティブ第二事業部

Tel: 03-6811-5074